

御嵩町及び御嵩町議会新庁舎等整備事業懇談会 第1回懇談会 議事要旨

日時:令和6年6月12日(水) 午後1時から午後3時

場所:御嵩町役場 本庁舎2階 第1委員会室

出席者:御嵩町議会議員全12名、御嵩町長ほか関係職員12名

～質疑応答～

議員

今回の補正予算にあるレイアウト業務について、もともと現庁舎の2階を使うという理解をしていたが、説明を聞く限りでは変わっているような気がするので説明してほしい。

町

現庁舎は使用しないという方針が変わったという理解でお願いしたい。予算説明の際には本庁舎の2階も使用するということではあったが、やはりIS値が0.6を下回っている以上、この現庁舎は使えないという判断に至った。

議員

今回の補正予算におけるレイアウト業務という考え自体は変わってはならず、元々のA案がベースということか。

町

北庁舎2階3階の利用がベースとなる。そこに収まりきらない場合、防災コミュニティセンターの利用や住民サービスの観点から仮設庁舎の建設も想定される。今回のレイアウト業務の中で、それら規模感や配置等について検討してまいりたい。

町

もともと本庁舎の2階で対応できないか考えていたが、再度検討する中で1階にあるべき機能を無理やり2階に上げるのは町民サービスとしてどうかということを考えて。1階にあるべきもの、例えば住民窓口の部分などは1階の仮設庁舎ということも考えられるところ。

議員

前回の予算の時に作ったA案かB案かというのは意味をなさなくなってしまうという理解でいいのか。

町

もともとのA案は、本庁舎の2階を使用しながら北庁舎などを使用する計画であった。それがベースではあるが、現庁舎の2階を使いながらの町民サービスはどうかと考えるとAダッシュ案というかそのように考えないと難しいのではないかと考えている。

議員

バイパスエリアで進めますとはっきり言いきっているが、位置条例の関係もあり、今回町長は議員12名が同じ方向という総意を示してほしいということである。それぞれ1人1人、反対という意見もあるが、全ての人が同じ方向を向いてほしいという希望がある。自分は令和元年に当選して、その前の平成27年から始まった流れは、そこで初めて知った中で、特別委員会をやったが、自分自身も当時の進め方について疑問があった。いろいろな疑問の中で4年やってきた。今

回新たに5人が議員になって、全てこれまでの経緯を知っているかというのと、今までの経緯をきちんと集約しないとなかなか進まない。実際12名の議員がバイパスエリアでいいという方向に向かないと難しい。

議員

方針を出すのは議員が考えることではない。町長の方針が当たり前で全員が賛成してくれたほうが良い。

議員

位置条例で意見が分かれるところ。まずは位置条例に向かっていく。

議員

論点整理をして合意形成に向かっての話し合いがスタートしたところであるから、昔のことは分かっているのではない。

議員

分かっていることはないが、疑問符はあった。

町

今回は、町としての考えを議員の皆さんに、まずはお伝えさせていただくというもの。町はこのように進めますという考えに対して、議員の皆さんはどう受け止めるか、新庁舎の位置についての合意が得られるのか、そうではないのか、といったところについて論点整理をしていきたいと考えている。

議員

論点整理していけばよいのか。

議員

納得が出来なければ反対である。納得出来るかどうかは色々な論点で整理していく。それが納得できなかったら駄目ということではないか。

議員

補助金をもらっているため、防災コミュニティセンターを仮庁舎として使用するのは法的に大丈夫なのか心配である。

町

そのあたりは確認してまいるが防災コミュニティセンターは補助金ではなく起債を充当している。もともと防災の目的で建設した施設であり、庁舎機能移転に関しても防災の観点があるものと認識している。

議員

ホールを休止し防災広場に変えるが休止をどれくらいするのか。緊防債を使用するにあたり目的が変わっても大丈夫なのか。

町

町民ホールについてはゼロベースということになる。ホール予定地であった防災広場についても緊防債を充てる。ホールをここに建てるのか、ホールは必要なのかという議論であり、ここに必要なのかということとは全く決まっていない。

議員

町民ホール休止となると、現在、中公民館は300人程度収容でき様々な行事に利用されているが、中公民館の改修も並行して考えていくのかどうか。

町

公共施設の集約化や統廃合の議論はどこかで出てくると考える。仮に中公民館を取壊すとなった場合には3階の大ホールが無くなるため、その際にホールが必要であるとの議論が生まれるかもしれない。これらを踏まえ、ホールの議論が乏しかった部分がありますので、一旦ゼロベースで話し合いが必要であるとの提案である。

議員

町民の中にはホール建設を支持する意見も多々ある。また、緊防債が使えなくなることも有り得る。

町

緊急防災減災事業債はこの令和7年で終了となる。今後、有利な起債があるという保証もない。その時に使える起債、財源を求めていくしかない。

議員

庁舎に関して使っている市町村役場債は、今後設計を変更すると使えなくなるのか。

町

市町村役場債は令和8年度までとなっている。

町

計画を立ててあれば、その有効性が令和8年度までであるという意味であって、新規に計画して行うものには使えない。

議員

設計を変えると使えなくなるのか。

町

その判断は今の段階では分からない。

議員

この事業は市町村役場債の対象という前提であるのか。

町

今後の設計変更に関しては分からないが、これまで実施してきた建物の実施設計分については起債の対象となっている。

町長

今後対象としては難しいと思う。国に直接聞きに行った際に、国としては新規で役場を建てていく部分については全て切ってきている。継続事業ということであれば、その範囲内で対象としてもらっている。なんとか首の皮1枚で繋がっている状況であるのが実情である。

議員

東畑建築との関係性で変更契約をするのか、新たに設計業者を選定するのか。また、設計を大きく変えてしまうと設計料が多くかかるのではないかと、本当にRC造で良いのかという議論も出てくる。設計を変えて、その上積みでまた設計料が相当かかるという感じになるがそこは考え

ているのか。

町

建物の変更設計に1億円程度を見込んでいる。すでに東畑建築による実施設計は終わっているが、今後RC造やS造に変更していくためには、もう一度本格的な設計が必要になってくる。その費用を1億円と見込んでいる。これまでの基本設計や実施設計のベースを生かしつつ、他業者も参入し一般入札により一番安いところで設計する方向で考えている。

町

構造を変えて事業費が安くなる場所もあるので、トータルで見れば安くなるのではないかと考える。

議員

額が下がっても、町の負担率が上がったなら何の意味もない。この段階で総額は減っているが、どれぐらい負担率の変動があるか。そこを示してもらわないといけない。

町

交付税算入の概念まで考えると、もしかしたら負担率が上がるかもしれない。ただ、総事業費の方に目がいく町民も多くまずは総事業費を抑える、見た目の事業費を抑えることに注力したいということで61億円を示させて頂いた。

町

建物の耐用年数が24年と50年とを考えた時、建物が建った時点からの返済費用とランニングコストとなる維持費の視点からも、やはり木造ではなく機能や構造変更をかけた方が良いのではないかと判断している。起債年数だけでなく耐用年数でも考えなければいけない。

議員

そういった資料をもう少し補充してもらえると理解が進むかもしれない。将来のランニングコストに関わってくるのは想像がつく。

議員

盛土を6億円と見込んでいるが、今後建設残土が大量に出るとは思えない。例えばリニアの建設残土を埋めるという手もある。埋める事業をJRに負担してもらえば経費も安くなる。残土の場合も溶出試験を行いOKであれば普通は埋められる。JRに全量検査をさせるという手もある。

町

リニアの残土については検査を受けた上での健全土になるが、今の話がありきではないので一つのアイデアとして何う。

議員

新丸の土は全くだめなのか。

町

工事が進むにつれ、要対策土にどんどん近づいていく。工期が遅れれば遅れるほど新丸山ダム
の残土利用の可能性は低くなると認識している。

町長

表土の部分とされる比較的安全な土は難しいと思う。

議員

仮設庁舎に関し、補正予算について議員間で話し合った際に問題となっており、町長の真意が分からない。職員を守るためにどんどん工事が伸びてきてしまって、新町長として新しい手を打っていかないといけないという表れだと思う。スケジュールや方針とかが決まっていけば、本当に仮設をどうするか。お金は必要なので、そこも一緒に考えていくのだが、50万円で何ができるのか。

町

そもそも物理的に全ての課が入るかどうかの検討すらしていない。北庁舎2階及び3階にどういった課が入るのかの検討もしていない。今回の業務でそこを検討する。

議員

バイパスでいいのか、ここじゃだめなのかという話に戻したい。今、非耐震であることに対する考え方を整理しなければいけない。私の感覚では、このまま使いながら耐震を1億8000万でやるのが一番安いと思う。使いながら出来ると思う。柱の間に鉄骨をはめ込む。土日にも作業できる。仮設のほうが絶対高いからここで使いながらやればいい。まず安心を確保しそれから検討ができる。構造を見て、一番簡単なのは中庭に鉄骨を組めば良いのではないかと。保育園は一応IS値があるので、直すとかやって1年、2年はっきりするまでは待ってもらおう。児童館は残念ながら耐震が出来ない、これまでもやっていないし検討もしていない。検討して出来なかったのであればよいが、検討もしていないのは駄目だ。現在の非耐震をいかに解消するかをやって、少し余力が出てきたら今後どうするか、バイパスに行くのか、保育園も一緒にするのか、そういう議論も落ち着いて出来るのに、話をミックスしてしまうから分からなくなってしまう。

町

議員が示した本庁舎の移転新築がマストなのかという点で、マストとはそうしなければならないということなので、そうしなければならない理由はないと思う。ここではベストを探るとするのが一番だと思っている。ベストを探る論点として、町としては現計画地で新庁舎整備を進めるのが良いと思います、としており議員は前の段階のことを言っているので、位置を進める考え方やここはだめなのかということも議論していきたいと思う。仮にここで耐震化した場合、どれくらいかかるのかも試算しているので一旦説明をさせて頂く。

町

はい。仮にこの建物を耐震化した場合約10億円程度かかる。これは大規模改修を含む試算。純粋に耐震化のみ実施した場合は5億円と試算する。

議員

耐震の場合、外側のブレースをつけての耐震はこの建物は出来ないと聞いている。

町

当時のコンサルに確認したところ、柱と柱のブレース工事では厳しく、頬杖方式と呼ばれる柱の補強工事で設計したとのこと。これに約5億円と試算する。

町

ご承知のとおり現施設は老朽化がかなり進んでおり、ネットワーク回線等かなりの大規模改造となる。伏見小学校をイメージしてもらえばいいが、大規模改造が必要になると思われる。

議員

すごく技術的な話である。専門家が説明するようなことをやらないといけないのではないか。なかなかピンと来ない。専門家と直接会って話をするとか、何故ブレースじゃ駄目で柱の補強なのか、それも正直言うと分からない。何故駄目なのかということをつみ砕いて説明できる必要性はあるような気がする。

議員

過去にコンサルから詳細な書類をもらっているのでは。それらを紐解けば必要な部分が出てくるのではないか。

町

確認させていただく。

議員

この鉄骨にどう補強し貼り付けるのか、そういうのも全部あるはず。

町

柱の補強図面はあります。鉄骨のボルト部分、いわゆる接合部分は天井を取り除いた先に存在する。耐震補強を行うためには、まず天井を取り払わないとできない。当然、照明器具も外す必要があり、天井を取り壊す工事を含めないと出来ないとされている。また南北方向だけでなく東西方向にも補強部分が視覚的に見える。

議員

数年間なら我慢出来るけれど長く使えるような庁舎ではないということか。

議員

今の話を確保するための定義があるのではないか。それを確認した上でということである。

町

天井を取っ払わないと工事が出来ないため、執務エリアに影響する。ここを使用しながら工事をするのは難しいことはコンサルにも確認をしている。住民サービスに影響が出ないようにしなければならず、その場合は仮設庁舎への一時移転が必要と認識している。

議員

それらを含め、ちゃんと検討したのかということを知りたい。

町長

議員にお聞きしたいのですが、この庁舎建物はブレース補強の可能性はあるのか。安くなるという部分も含めて。

議員

外側に斜めに補強すれば良いのでは。

町長

それが難しいと聞いている。

議員

それは聞いていない。考え方としては短期間であれば外側に向かって梁を入れて補強するか。一生ものではなく移転するまでの間持たせる方法で考えたかどうか。

町

外側で対策する場合、5m程度のスペースが必要になってくる。必然的に道路側に影響するため困難と思われる。

町

町の考え方としては、単に耐震補強5億円ではなくて、北庁舎と防災コミュニティセンターなど使えるスペースは使い、町民サービス機能の面で必要な部分は仮設庁舎を整備するという考えを持っている。

議員

仮設庁舎を東側駐車場に建てるという考えはないのか。

町

可能ではあるが、駐車場不足の問題にも影響してくる。

議員

優先順位を考える必要がある。駐車場は探せばよいのではないか。3,000 平米あれば大部分の所が入る。そうすれば、あちらこちらと分散なくて済む。一つずつ課題を潰して、皆が納得すれば良い。それが論点の整理ではないかと思う。

議員

5億円かけてどれくらいの耐震性能を目指すのか。Is値 0.6 を目指すのか。

町

Is値は 0.9 を目指す耐震補強もあれば、0.6 を目指す耐震補強もあります。

町

現在の建物の耐震化だけではない論点ということで、今回①から⑦までの方針案を示して移転新築を進めるという考えとなった。

議員

①から⑦の理由で町民が納得するだろうか。懇談会に出てくる人は反対の人が多く、色々と言う人がいるのは間違いないが、この理由をもってバイパスを進めることに納得が得られるだろうか。非常に心もとない気がする。

町長

逆に、例えばここが気になるとか、引っかかるとか、具体的な部分はあるか。

議員

それは、私が以前から言っているとおり事業費を50億円以下にすること。

議員

それは初耳であるが。

議員

元々は78億円から始まっている。懇談会で30億か40億円ならみんな賛成するけれど78億円はだめだと言った町民がいた。その感覚からすると、やはり50億を超えることは、半分自己資金で半分借り入れだから、そのあたりが感覚的には限界かなと感じる。それくらいにすれば、場所はバイパスで50億円程度と言えば、多少納得感は得られるかなと思う。

議員

50億円にして町民を納得させられるのか。

議員

納得感があるかどうかという話である。私はこの場所でやりましょうという考え。そうすれば確実に30から40億円で終わる。バイパスに行くというのであれば盛土や造成などが必要だが、50億円くらいでやれば移るのも仕方ないのかなと思う人もある程度出てくる。納得感をどこで得るのかである。場所なのか、お金なのか、何で納得感を共有するか。私は、お金が一番かなと思う。

議員

お金が一番だけれど、みんな何年間庁舎が使えるということを全く度外視している。1年で支払うことばかり考えている。

議員

少なくとも何十億と借入することには間違いない。

議員

一番気になっているのは既存のアパートの周りがどれだけ囲まれてしまうのかということである。過去の経緯は分からないが、アパートを買収する計画はなかったのか。

町

買収する計画はありません。

町

地権者にもアパートオーナーにも状況を説明し、理解を得て進めてきた事業である。

議員

仮に2mの壁に囲まれるということは前提になっているのか。

町

高さ関係についても説明をしている。アパート自体がバイパスより低い位置に建てているので、現在でもバイパスからの雨が流れ込んでいる。アパートの造成はオーナーの考えであるため仕方がない部分である。

議員

リニア残土がどれだけ使えるのか、使えるだけ使ったら良いのではないか。複合的な問題が絡むので簡単ではないとは思いますが、使わない手はないと考える。

議員

リニアのトンネル残土は岩が多い。使えるのか使えないのか。

町

そもそも盛土材として使えるのかを確認したところ、トンネルを掘れば必ず岩が出る。ただ、それに合わせた施工方法というのがあり、岩を真ん中に入れて周りを細かいもので組むという方法が一般的であると伺った。ただそれが、この場所で出来るかどうかは確認していない、一般論としての話である。

町

もちろん安全な土であることが前提と考える。

議員

今日の話を持ち帰って考えるわけだが、その後のスケジュールについては町長の日程と合わせ、ある程度目途を立ててもらえるとありがたい。7月末までしかないの。

町長

ある程度計画的に進めてまいりたい。

議員

先ほどの話ですが、現庁舎の2階は全く使わないということか。

町

基本的には現庁舎から人を排除するという考え方である。ただし文書キャビネットなどはそのままを予定している。また、議場についてはどうするか皆さんと考えていく必要がある。

議員

跡地の話が一回も出てきていない。1万7000平米も遊休地を作ってしまったら駄目だ。跡地を考えないで移るばかりではいけない。跡地に関しては、過去に一度も出てきていない。

議員

私が以前一般質問で跡地について質問をしたところ、前町長は事務は出来ないが倉庫なら使えるという答弁であった。周辺住民は役場が移転すると、自分たちが取り残された疎外感があるということと話したところ、完成するまでに順次考えていくということであった。はっきりとした計画がある訳ではないが、議論が無かったということではない。

議員

亜炭鉱対策について聞きたい。充填の範囲は建物の下だけ充填するのか。

町

建物直下と周回道路を予定している。駐車場と防災広場は実施しない予定である。

議員

元々は全部充填するという計画だったが、変更して問題点はないのか。

町

ボーリング調査の結果によると、計画地は基金事業として実施するレベル1とレベル2の境であり、かなり深い所である。隣接する21号バイパスも充填工事はされていないし、可児御嵩インターも充填はしていない。ただ防災拠点という観点から、建物とそこへ繋がる道路は充填しておいた方が安心感が出るのということで、そこへ絞って実施する考えである。駐車場や防災広場も実施すれば安心感は得られるが、今回の諸条件の中でどこまで対策するのかを考えると、やるべき所は絞られると考える。

議員

ホールをなくして防災広場にただけだが、防災広場①②の必要な面積根拠がない。北側をやめてしまえばどうか。ましてや河岸浸食のエリアに保育園が入っている。

町

議員のご提案はアイデアとしてはありがたい。やはり雨水処理について可児川へ放流することが必須条件になってくるので、ある程度の収容貯水量が必要となる。防災広場①を利用してコストダウンしながら造成をしていこうとすると、これぐらいの広場が必要になる。

議員

防災広場そのものを少し下げるとのことか。

町

調整池の構造の見直しも併せて検討している。

議員

よくショッピングセンターだと駐車場が一段下がって大雨が降るとそこが調整池になる。そういう考えか。

町

そういう考えも捨ててはいません。防災広場①と庁舎駐車場の配置転換が出来た場合は、可見川沿いの防災広場①が駐車場を兼ねつつ調整池が整備できる可能性もある。事業費を抑える意味では検討の余地があると考えます。

議員

低くしては駄目なのか。バイパスと同じ高さが絶対条件なのか。北側に駐車場があるのなら良いのでは。

町

可見川の水位との兼ね合いや排水能力が確保できるかという点がポイント。これらは関係機関の下協議が必要であり相当の日数を要する可能性もある。地盤を下げれば下げるほど可見川水位に近づくため、許容貯水量が確保できないかもしれない。そのあたりの検討が必要と考えます。

議員

基本的にはポンプアップで排水はできる。

町

維持管理コストが発生する。自然流下が一番安い。

議員

アパートは低いではないか。

町

アパート敷地にはポンプが設置されていない。新庁舎は1万平方メートルを超える大規模開発であり、この場合開発許可基準に従って調整池を設けなければいけない条件がある。アパートとは整備の条件が異なる。

議員

ホールの所は全然関係ないのか。ホールが防災広場になるが。

町

あくまでも多面的な活用が出来るという観点から防災広場にしている。芝生広場でなくてもイベント等に活用できるようアスファルト広場も有効かもしれないが、町としては一番費用がかからない張芝の計画としている。

議員

やはり3.7haは大きすぎるし、いらぬ面積である。元々2haでよいと言っている。そこを考えられないか。買うのは全部でいいが、まずは2haで進めるとか。

町長

例えば全部買うが、高さの差あるいは建物の配置計画も含めて、残り部分は何かしら別立て
で活用するという方法。ただし抜本的な開発の入れ替えになるので、逆にスケジュールや費用が
上がってしまうということも有るかもしれない。

議員

この場所にこだわるのであれば面積を小さくすることがコストダウンという意味では一番考
えられる内容である。

議員

亜炭鉱対策が町単費なのは基金事業が延長されないからか。計画が立てられないのか。

町

今年度で基金事業が終了する。もともとの計画では基金事業と特殊地下壕事業のハイブリッ
ドでの対策を考えていたところであるが、今後事業を進めて行く上で、次期事業の対象になるか
も分からないため町単費での計上としている。

議員

もし予算がもらえたとしたら、計画地としてここを入れるのか。

町

その可能性があるかどうかも含め現時点では分からない。

町

できないと考えます。予算を取りに行き行って認めてもらうためには、今の段階でこの場所でこ
ういう計画でやりたいですというのが承認されて基金が予算という形になってくる。今の状態で、
ここになるか分からない状態で計画に入れることは出来ない。基金を使つての対策は出来な
いと考えている。

議員

位置条例さえ通れば良いのではないか。

町

仮に位置条例が通っても、そもそもの考え方としては居住空間、家屋、既存の建物の安全性
を守るためにというところからである。

議員

第1期計画地ではなかったか。新庁舎計画地は公共施設だからと聞いていたが。

町

それが今では取り下げている。

議員

取り下げても、計画として入れておかないと特殊地下壕が使えないという理屈ではないのか。
緊防債でやるのか。

町

基金事業では難しいにしても、緊防債を含め起債事業なら可能性はあるかもしれない。実際、
御嵩分署が緊防債を活用し実施する予定であるので、理屈があれば亜炭鉱対策も緊防債で実
施という可能性はある。

町

今後に向けて、論点を整理させていただきます。次回は移転新築するのがベストなのかについて、皆さんと議論しまとめていきたい。2つ目として、お金の面はどうかという大きい論点があり、費用という面で論点整理していきたい。3つ目として、そもそも保育園と児童館を集約するのがベストなのかという論点整理をしたい。4つ目として、先ほど議論に出ました現庁舎対策が何もしなくてよいのか、対策をどうするのかというところの議論をしたいと思っている。最後5つ目に、残地の活用案であるが、正直この部分は答えが将来のシミュレーションでいつ出来るか分からずまとめることが難しいので、一旦は1、2、3、4で進めていきたいと思う。改めて今後の日程を示してまいります。

議員

物価高騰によりコストが1.3倍になるというシミュレーションについて、第三者委員会が出た数字であるが、実際に実行するのは2、3年後である。その頃も1.3倍でよいのか。

町

将来については正直誰にも分からない。ただ昨今の社会情勢から見ると下がっていくことはなさそうであるし、平行かもしれない。であるため今は1.3倍という数字を使うしかない。

議員

最初は庁舎整備検討委員会ということで、庁舎に特化した議論であった。それが途中から庁舎等の等になったことから全て複合化していった。そこに大きな問題がある。この辺もきちんと整理して議論していかないといけない。等というものには保育園など大きなウエイトを占めているのも事実である。町民が納得できるような、我々も説得できるような議論をしていきたい。保育園の移転に関しては検証委員会では結論が出たが、そのプロセスについて町は資料を持っているはずなので、もう一度検証した中での議論も必要。庁舎だけだったらそれほど難しい問題ではないと思う。

町

ある程度論点を整理して議論をしていきたい。それぞれの合意、納得感をいただきたいと思っている。現在の計画では保育園、児童館、ホールも入った計画になっている。その計画をベースにどうなのかといったところを議論して結論を出していかないと、切り分けたとはいえ、中に入っている計画なので、それを踏まえてご意見をいただければ、代わりにこうするべきだというご意見をいただければ、それについて議論が出来るかと思う。今日は町からの提案ということで考えを提示させていただいた。考えられる提案を含めた意見をいただきたい。